

議席 9 番，須藤信吉君。

〔 9 番 須藤信吉君登壇〕

○ 9 番（須藤信吉君） 皆さん，改めまして，こんにちは。議席番号 9 番，須藤信吉でございます。傍聴者の皆様におかれましては，引き続き傍聴いただきまして，まことにありがとうございます。

質問に入る前に，先月 2 月 26 日，首都圏連絡自動車道が一部開通をされ，境古河インターチェンジの付近においても早くも渋滞が見られる状態になっております。2 月 25 日の通行量の報告がありまして，1 日の通行量は 2 万 4,000 台と，これを聞いております。多分あそこ開通式のときには，1 日 1 万台が通過する通行量があれば 4 車線化も要望できるということの話を聞いていまして，やはり中には早速 4 車線にしてもらおうというものも聞かれております。

それでは，質問に入らせてもらいます。議長の発言の許可を得ましたので，通告に従って 1 項目，3 点について質問させていただきます。執行部の誠意ある答弁をお願いいたします。

1 項目の①，今回は長田小学校関係についての一般質問をさせていただきます。①で，アルゼンチン共和国との今後の交流について。長田小学校は平成元年より続いている学校と協会との交流であったが，昨年より今回のホストタウンとして登録を契機に，アルゼンチンオリンピック代表チームやアルゼンチン大使館との連携を強化しながら，アルゼンチン共和国の選手誘致に向けてどのように取り組みを進めていかれるのか，お聞かせ願います。

また，町長の施政方針の中で，長田小学校のほかに，希望があれば他の学校を対象として交流を深めることを実施していきたいと。これ人数的にはどのくらいまでのものが考えられるのか，この辺もお聞かせ，できればお願いいたします。

次に，②ですが，②と③，これ重複することがあると思いますので，答弁のときには②，③重複しても結構ですので，答弁をよろしくお願いいたします。

②，長田小学校敷地内への放課後児童クラブの設置について。今長田小学校においては，ふれあいの里の，先ほど渡邊議員が質問されていましたが，子育て支援センターの中の施設を今利用されています。その中で今利用しています長田小学校では 34 名で，静小と猿島小は合同で使われています。静小が 23 名，猿島小が 38 名，この内容を見ますと，大体 1 年生から 4 年生まで，5 年から 6 年の生徒さんについてはほとんどゼロに近いかなと。それで，なぜ学校の敷地内に入れてほしいかといいますと，子供たちの安全のため，それが次の③項目の通学路の危険箇所の安全対策というものの絡みもありますので，答弁については，②番，③番を重複しても結構ですのでお願いいたします。

今長田小学校では，児童クラブに先生が引率をして行きます。距離が大体 1.5 キロぐらいあるのです。小学校 1 年生から 6 年生まで，対象に連れていくということで，約 30 分かかかるらしいのです。静小，猿島小はスクールバスが入っていると，森戸小ははなぶさ幼稚園を利用されているので，バスで迎えにきていただける。長田小だけが，先生が引率をして連れていくと，そこで 30 分かかかるので，その辺の安全性を考慮すると，敷地内の施設を検討していただけないかと。今使われているところが，道

路が狭く、歩道も狭いです。その辺から父兄の方、学校もできるだけ敷地内にやっていただきたいと。先生方も往復60分使うので、その辺も考慮していただきたいと。

それで、次の③番目の通学道路の危険箇所の安全対策について。今この通学路として使っているのは、1-4号線、1-4号線というのは長田小学校から二中方面に向かう道路です。これが1-4号線、それでこのものが、1-3号線とファミリーマートのコンビニがあります。その交差点のところまで行って、そこを左折をして児童クラブに入っていくと、この距離が1.5キロぐらいです。

それで、通学路においてですけれども、皆さんご存じのとおり1-4号線、この1-4号線は、長井戸の平川スタンドから長田小学校に向かってくる町道です。そこに、皆さんご存じのとおり歩道橋ができています。開通したときには皆さんも見学に行ったと思うのですが、ここに長田歩道橋というのか、それが使われていますので、1-4号線を利用する人はある程度安全対策はとれていると、ただこの1-4号線について、上小橋、西泉田、長井戸の一部の人たちは、まだ開通をしていませんので、354バイパスが新井建設さんのところまで来ています。それと1-4号線が交差しています。ここの横断に対しての、今後3年後には開通するというのを聞いていますので、それまでには安全に横断できる歩道、歩道橋をつくっていただけないかと、これは平成27年に区町会のほうで要望書は出ていると思うので、その辺の、もし町のほうで回答できればお願いいたします。

それと、長くなりますけれども、この1-4号線は、小学校から西泉田方面に向かっている道路です。この道路を利用していますのが約115名ぐらいいるのです。それで1-3号と1-4号線の利用は大体80名ぐらい。このような観点から、今の通学道路の危険箇所か、これを実際に歩いていただきますと、コンビニのファミリーマートのところは、今のところは毎日警察官が2名交通指導をしています。ですから、聞きますと、最近では工事が終わったから大型の走るものがなくなって安心してきたと、ただそのかわりスピードが、朝ですから出てくるので、その辺の子供の横断をするのに目を配っていないと危険であるというもので、その辺の教育も十分しなくてはいけないのではないかなと、その辺で学校も父兄のほうも強く要望を出されましたのが、1-3号線と1-4号線の交差するファミリーマートのコンビニのところ。そこの拡幅をしていただけないかというものもあります。

確かに、朝のこの1-3号線は、通勤と大型の車両、これが信号が変わる寸前に確かにスピードがアップしてくるのです。そうすると、その風圧で子供たちに影響を与えると。ですから、この辺の歩道については十分に検討して、子供の安全を守っていただきたいなと思っています。

②番と③番については重複しますが、第1回目の質問はこれで終わりにいたします。

○議長（倉持 功君） 最初に、長田小学校についての①項目め、アルゼンチン共和国との今後の交流についてを教育次長、お願いいたします。

〔教育次長 中村幸一君登壇〕

○教育次長（中村幸一君） それでは、須藤議員の1項目め、長田小学校についての①点目、アルゼンチン共和国との今後の交流についてとのご質問にお答えいたします。

長田小学校では、80年以上の交流の歴史の中、平成元年からアルゼンチンの日のつどいを実施し、28回目を迎えました。また、当町は東京オリンピックに向けたアルゼンチン共和国のホストタウンとして認定を受け、友好親善の一つとして、長田小学校アルゼンチン派遣事業を昨年10月に実施いたしました。派遣児童6名には、異国の文化、習慣を肌で感じ取り、貴重な体験をさせることができました。アルゼンチン訪問をした子供たちは、3年後の東京オリンピック時には高校生になっており、選手団に対するボランティアに参加し、一緒にアルゼンチンを応援したいと話しておりました。

今後の交流につきましては、町長の施政方針にもありましたように、町内の各小学校からの派遣生を1名程度募集してまいりたいと考えております。募集及び実施の時期につきましては、アルゼンチン派遣実行委員会を開催し、決定したいと考えておりますが、5月募集を目途とし、夏休み実施も視野に入れ、10月までには派遣を行いたいと考えております。また、その他の交流につきましては、長田小学校を中心に町全体で友好親善が深まるよう、関係各課と調整を図りながら、大使館及びアルゼンチン協会などと協議をしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（倉持 功君） 次に、福祉部長。

〔何事か言う者あり〕

○議長（倉持 功君） 暫時休憩をいたします。

休憩 午前11時17分

再開 午前11時19分

○議長（倉持 功君） 休憩前に引き続き会議を再開したいと思います。

質問のやり方ということですか、須藤さん。

暫時休憩します。

休憩 午前11時19分

再開 午前11時20分

○議長（倉持 功君） 暫時休憩に引き続き会議を再開いたします。

整理をさせていただきますと、この通告にある質問が出ているということで、どちらかという、再質問のところを先にやっちゃっているみたいなことはおかしいということで、戻しまして、通告に対して今回答をいただいているということで、その後は再質問の中でいろいろな関連で聞いていただくという形でやっていただければなと思いますので、皆さんとそれを共有をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、再質問からよろしいですか。

〔何事か言う者あり〕

○議長（倉持 功君） それでは、先ほどの答弁に対する質問はございますか。
須藤信吉君。

〔何事か言う者あり〕

○議長（倉持 功君） ①の再質問。

〔何事か言う者あり〕

○議長（倉持 功君） 済みません、では、回答。
次に、福祉部長。

〔福祉部長 台 章君登壇〕

○福祉部長（台 章君） それでは、須藤議員の長田小学校についての②点目、長田小学校敷地内への放課後児童クラブの設置についてとのご質問にお答えいたします。

渡邊議員のご質問でも答弁させていただいておりますが、放課後児童クラブは、平成27年度から対象児童が小学校6年生まで拡大されたことに伴い、引き続き在籍を希望する児童の増加や新たに入学される児童の入会希望がふえていることから、さまざまな対策により受け入れ体制の強化に努めているところでございます。特にふれあいの里子育て支援センターの児童クラブは、長田小学校、猿島小学校、静小学校の3校の児童が3つのクラブに分かれて利用しており、新年度は入会を希望する児童が今まで以上に増加することから、さらに1クラブ増設し、4クラブ体制とすることで現在準備を進めております。

4クラブ化に伴い、定員数も全体で140名と大規模な施設となることから、今後は各小学校内に児童クラブを設置する方向で検討してまいりたいと考えておりますので、長田小学校におきましても、学校施設の有効利用や学校敷地内に新たに児童クラブが建設可能かなど、教育委員会を初め関係機関と協議しながら検討してまいりたいと考えております。

○議長（倉持 功君） 次に、建設農政部長。

〔建設農政部長 小藺江 実君登壇〕

○建設農政部長（小藺江 実君） 須藤議員の1項目め、長田小学校についての③点目、通学路の危険箇所の安全対策についてとのご質問にお答えいたします。

長田小学校前を南北に走ります町道1—7号線と境工事事務所を東西に走ります町道1—3号線とが交わるファミリーマートの箇所になりますけれども、西泉田北交差点につきましては、圏央道の開通により交通量が増加し、右折レーンがないことから、朝夕を中心に渋滞が生じております。このため右折レーンを設置する交差点改良を実施することとし、隣接する地権者に土地の協力をお願いし、ご理解をいただいたところでございます。今後警察と交差点協議を行い、その許可が得られれば、路線測量や道路設計に着手し、用地の協力をいただいた後に工事を進める運びとなります。町といたしましても、一日でも早く交通の安全確保が図れますよう、鋭意努力してまいります。

また、長田小学校西側の通学路にグリーンベルトを整備し、ドライバーに注意を促し、児童の安全

確保につなげるべく準備を進めているところでございます。さらに、蛇池行政懇談会で意見が出されました停止線を下げしてほしいとの要望につきましては、交差点部での巻き込み事故を防ぐため、停止線を交差点から下げるよう白線の引き直しを実施することとしておりますので、ご報告申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） ただいま説明ありましたが、今長田小学校ではこの1—4号線、これが……

○議長（倉持 功君） 最初の1項目めに対する質問からでないと、前の部分が飛んでしまいますけれども、よろしいですか。

○9番（須藤信吉君） では、1項目のアルゼンチンの質問ですけれども、さきに内容については説明したと思うのですけれども、再質問で確認しようと思いましたが、答弁をもらって、その人数とかそういう費用の問題とか、あとはほかの学校でどのぐらいいるのか、あとは議員の中でも、私もできれば費用があれば行きたいなど、議員も費用を出しても行ってきたいなど、さんざんあそこを、アルゼンチンとの交流をやってきましたので、そういう考えもありましたので、その辺の答弁をいただければと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、須藤議員さんのご質問にお答えします。

今回新年度の予算は前回同様という形にはなっているのです。ですので、全部、団からすると10名程度の予定にはなっているのですけれども、これからもし希望者がいればという話をさせていただきましたが、教育長のほうで学校に問い合わせをして、もし1名ずつとかいる場合には、また議会の皆さんとも相談をして、予算をふやすかどうか、あと議会の皆様も、もし行かれるときには行かれるような段取りをしなくてはならないですし、まだ私行っていませんので、2回とも行っていませんので、これもそろそろ行かないとまずいかなというのがありますので、時間をとって。

そんなことも検討していかなければならないので、今後ぜひ参加者が多ければ、それはそれでしっかりと皆さんに説明をして、予算をとって実施をしたいというふうに思っておりますので、今の中で例えば長田小学校の人数を削ってとか、行く人を削って調整するとかということではなく、必要であれば、しっかり皆さんと協議して予算をつけたいというふうには思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対する質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） これアルゼンチンとの交流については、もう相当長く、長い時間、28回、その前にもあったのですけれども、途中空白がありまして、平成元年にPTA会長、あとは執行部の役

員と話をして、これは継続しようと、そこで決まったのが、このアルゼンチン交流のきっかけとなって、それを毎年やろうと。それをやるのであれば、アルゼンチンの交流の日をつくろうと、それをつくったのが多分6月の第3金曜日ということだと思っております。今回はホストタウンで入りまして、10月になって、規模的には大きくなって、学校側も大変喜んでおります。子供たちも喜んでおりますので、その辺も考慮して、人員的に確保できるのであれば、その辺を要望して、①番についてはこれで終わりにします。

○議長（倉持 功君） それでは、①項目めについては終わり、②項目めについての再質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） ②項目についてですけれども、この学校敷地内の児童クラブ、これは本当に強い要望なのです。というのは、学校の先生が2人で行くのですけれども、そのファミリーマートのところのあそこを通るときに、信号が青だと、子供たちは左へ曲がるわけです。そうすると、風圧で揺れるらしいのです、子供たちが。信号が赤であればいいのですけれども、とまるから。青のときには十分注意しなくてはいけないので、そういうものが検討されるのであれば、前向きに検討していただきたいというのが、父兄と先生方からありましたので、これもどの辺までの、もし検討をしているのであれば、答弁できるのであれば答弁をいただきたいと思っております。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問の回答を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、須藤議員さんのご質問にお答えをします。

回答の中にも、ぜひ前向きにという話を書いてあったと思いますが、本当に子供たち、あそのふれあいの里幼稚園跡地まで歩いていっているのです、長田小学校だけ。あれは僕らも聞いて、この間聞いたのですけれども、申しわけないですけれども、この間聞いたので、かわいそうな話で。

実際にクラブを増設する際に、今どういうふうになっているのだと、静小はどうなっている、猿島小はどうなっている、長田小はどうなっているといったときに、実は長田小は歩いていっているのだよと、しかも圏央道が開通をして、あそこを歩いている孫らの姿を見ていると、忍びなくてしょうがないというのが地域住民の声ではあるのです。ですので、やはり静小学校同様、できれば施設内、もしだから、本当にどこか確保できればいいのですけれども、できないときは脇の土地を、もしあれだったら借りても買ってもつくりたいなというぐらいはあるのですけれども、できれば新年度中にそういった計画をして、境小学校の場合は、ちょうど土地があいておりました。あと県との協議もスムーズに、国との協議もいったものですから、よかったのですけれども。

あとは、逆に空き教室はないと、いつも学校関係では言われるのですけれども、静小学校なんかも、全盛期の半分の人数にはなっているわけですから、ですから、できれば教室があいているのであれば教室をやるか、もしくはプレハブの今いいのがあります。例えば1,000万円ぐらい使うと、非常にいい。

例えばそれであれば大体入ってしまうのであれば、逆にそういった施設で設置をしてもいいのかなんていうことは思っています。3分の1は町、3分の2が国、県ですので、1,000万円かかっても、皆さんちょっと今計算すればわかるような金額ですので、だからそのほうがやはり子供たちのためにも、親御さんたちのためにもいいのではないのかなというふうに町は思っていますので、その辺しっかり新年度中に何とか完成という、随分無理だとあそこで言っていますから、本当は、僕の意向としては本当にそのぐらいのスピード感を持ってやっていきたいというふうには思っていますので、ぜひご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 今の町長の答弁で、先が見えてきていると、これも父兄の方もそういう話を聞けば、それでは見通しはついているのだなど、安心して送り出せると。これは早急にできるのであればやっていただきたいと、これは要望でお願いします。

○議長（倉持 功君） それで、③項目めの再質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） これは1回目の質問のときに、この児童クラブと合致するところがありまして、この1—4号線、1—3号線、あとは各バイパスと交差するところ、これについては児童クラブのときには、先生方が引率するからいいです。でも、今度は朝の通学においてははないのです。これ見ていると、まだファミリーマートのところは警察のほうで2名立って来ていますので、これはいいと思うのですけれども、子供たちがどうしても30名から40名ぐらいの列を連ねて通るのです。そうすると、赤になりそうになると、あるいは点滅すると、駆けるのです、見ていると。その辺もあるので、この1—4号線というのは、今後重点的に見直して、安心して渡れるようなものにしていただきたいと思ひます。あとは、1—7が……

〔何事か言う者あり〕

○9番（須藤信吉君） それと、あとは354バイパスが3年ぐらいには完成すると聞いております。その辺において、あそこを子供が、あの区間は短いですが、渡るのを見ていると、子供たちは1分以上かかるのです、渡り切るのが。そうすると、あそこで、横断歩道の信号を1分とめたら、車が相当渋滞してしまうと思うのです。その辺も考慮してこの安全対策を歩道橋、多分前の区町会のほうからも要望は出ていたと思うのですけれども、平成26年ころに。その辺も3年あるけれども、その間にできるものは検討してやっていただきたいと思ひますので、もし答弁できればお願いいたします。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、須藤議員にお答えします。

まず、歩道橋ですけれども、実際に1—4から上がってきた、平川油屋さんからずっと上がってきたところの歩道橋、これ設置する際に皆さんにもご協力いただきましたし、ご説明もしましたが、実

際に歩道橋をつくるのは、354バイパスが完成してからというのが県の方針でございました。これは皆さんもご承知のとおり。あそこには歩道橋は、ですから30年後というような話です。全線開通したときにつけますからという話ですから。それをいろいろな方にお世話になって、何とか完成をし、そして当初5,000万円と言われた歩道橋も1億3,000万円かかったのですけれども、全額県に出していただいて、その際のときは小林所長さんだったわけですから、小林所長さんに本当にお世話になって、そして県にお世話になってつくっていただいたというのは記憶に新しいと思います。その際に長田小学校、それからPTA、それから行政区集まっていた際に、どちらを先につくるかと、要は、蛇池のほうの、西泉田から上がってくるほうをつくるのか、長井戸から上がってくるのをつくるのかといったときに、これは飯田議員さんもお承知のとおり、長井戸のほうが先に開通するし、子供らも多いので願いますと、両方やったのです、調査も。

あそこが、実は本当は30年できなかつたやつをつくってもらったというのが本当の話です。いざこっちと言ったときに、ではつくってもらえるかという際には、非常に難しいのですが、ただやらざるを得ない。僕らはやはり執行者ですから、しっかり、だめだと言われてもつくってもらう方向でやっていくというのが町の方針ではありますので、須藤議員さんおっしゃるとおりです、また多分言うと思うのです。今度はまた30年後、全線開通時には絶対やりますからなんてやると思うのです。けれども、何とか今の所長さんにもお願いをして、しっかり県のほうの許可なものですから、県のお金ですから。ですから、県のほうに要望して、本当に通行量多いですから、多分こういって言われると思います。バイパス開通すれば、あっちを通るようになりますから、こっちは安全ですよなんて、多分言うようになると思うのです。でもそんなのは後からの話であって、やはり現実的には地元の皆さんは、あそこにあるべきだというふうに思っていると思いますので、その辺は議会の皆様とともに一生懸命県のほうにお願いをしてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それと、やはり圏央道が開通したということで、長田地区の子供たち、本当にあそこの学校に行くのは非常に危ないのではないかというような話があると思いますので、実際に今の山崎北と西泉田とあそこの交差点、ファミリーマートのところ。あそこにつきましては、地権者の方にもご相談したところ、内々にはうちの孫も通っているのだと、うちの孫も長田小に行くのにいつも危なくて、俺が手をつないで一緒に歩いていっているのだという話で、逆に歩道を広げてくれたり、交差点を改良してくれるなら、喜んで協力をしたいという話をいただいているところでもありますので、早急に交差点協議をして、こういう交差点協議とか設計というのは、やらなければならないものなものですから、幾ら地権者の方が同意されていて町がやると言っても、すぐはできないものですから、そこはしっかり協議をして、実行したいというふうに思っています。

なお、できるところからということで、今停止線、長田小学校から西泉田のほうに来る停止線、あれが前のほうにあって、大型が丸和園さんのほうから曲がってくるのに、非常におっかないと、そし

て危ないという話が蛇池の懇談会でありましたので、もうそれは下げさせていただくと、下げさせてもらおうと、ファミリーマートから出るのがちょっと大変にはなるのですけれども、それはもうしようがないと、ファミリーマートの人には話をして下げてしまうという話で、町としては下げる方向で指示をしたところでありますので、とにかく圏央道開通をし、新しい道路ができ、いろいろなところで危ないと思われるところが出てまいりますので、そういったところはやはり地域の行政区の皆さん、そして議員皆様方から早急に話をさせていただき、そして協力していただける場合には、早急にそういった場合を対応していきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

なお、先ほど回答の中にグリーンベルトの話がございました。本当は警察にお願いして、警察がやるのです。ですが、お金がないということでありますので、町がグリーンをやつはやりますから、許可だけ出してくれというのを警察署の署長さんにもお話ししてありますし、それならありがたいという話をいただいているところなので、早急にグリーンベルトのほうもやりたいなというふうには思っております。

ただ、1点難しいのは信号です。ちょうど鹿久保設備さんの上を行った丁字路の、あそこの結城・野田線のバイパスに出るところ、ここの信号は非常に難しいです。何回も聞いておりますが、例えば交通量調査をすると、ちょうど下砂井のほうに抜ける道路があります。みんなあそこで曲がってしまうので、あの丁字で出るのは非常に交通量が少なくなってしまうのです。ですので、交通量からいったら設置ができないということと、もう一つは警察が今苦勞しているのは、維持費だそうです。今ある信号機の維持が大変なのです。その費用が捻出できないので新たに設置するのが非常に厳しいと、できれば、確実ではないけれども、皆さんのお願いとしては、境町全体を見ていただいて、信号をなくせるところがあったらなくしていただいて、なくしたものをそっちへ持ってくるとか、そういう要望を出してくれないかという話も出ておりますので、これは非常に難しい話だと思っておりますので、ぜひ議員の皆様方、地域をよく知っておりますので、どこか信号をなくしても、地元の人もここは要らないのではないかとこのところがもしあった場合には、僕はなかなか難しいと思っておりますけれども、あった場合にはそうやって言っていただいて、それにつけかえをすとか、それでも100%とか90%ではないと思っております。非常に今信号をつけるのは、あその場合には、下砂井に行く道路を塞いでしまうのかと、塞いでしまえば交通量はふえるのです。そうすると、下砂井の人に文句言われます、何で曲がれなくしてしまったのだと、1回出てからそっちに行くなんて、そんな面倒くさいことというような話がありますので、総体的に考えていただいて、いい方策が何なのかというのを地域の皆さんとも検討して、そして議員の皆様方とも検討していく課題ではないかなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。

とにかく子供たちの安心安全というのは一番ですから、やはりしっかりそういった部分は町としても率先してやっていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 今執行部と町長に答弁をいただきまして、本当に子供たちの安心安全のためにやっただいていてということを感じましたので、これを本当に前向きに進めて、一日でも早く子供たちの災害に遭う前にやっただきたいと思いますので、その辺を要望して一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（倉持 功君） これで須藤信吉君の一般質問を終わります。